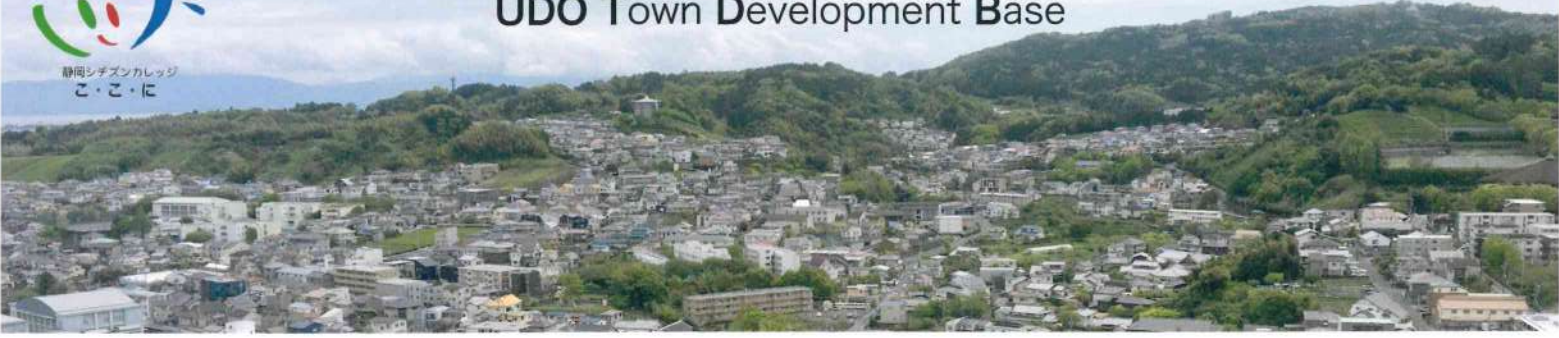




う ど UDOまちづくりベース

UDO Town Development Base



人生 100 年時代。みなさんは、どこで、どのように暮らしていきたいですか？

健康寿命が伸びている当時代においては、自分たちが住みたいと思う「まち」を、自分たちの手でつくっていくことが出来る時代になってきています。まずは身の廻りの小さなことから始め、さらには多くの方と連携し、活動を積み重ねていくことによって、5 年後、10 年後、数十年後には最も住み続けたいと思うまちになっていることでしょう。

静岡市清水区有度地区を対象として実施する「UDO まちづくりベース」では、そのようなまちづくりをしていくためのきっかけづくりや、学びの機会、そしてまちづくりに関心がある人同士の交流の機会を、令和 4 年度から 3 ヶ年かけて提供しています。

令和 4,5 年度においては、地域課題を掘り起こし、短・中・長期ビジョンの検討とそのための方法論を検討し、3 つのプロジェクトが立ち上がりました。

令和 6 年度はプロジェクト活動を本格的に動かしていくことを目的・目標としてグループワークを行い、最後に公開発表会を行います。令和 6 年度から参加される方は、裏面に記載されているプロジェクトに加わることや、今年度に新たなプロジェクトを立ち上げることが可能です。

* 当講座は、令和 5 年度から「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」の専門課程に位置付けられています。

● 参加可能対象：大学生から高齢の方まで

- ・静岡市清水区有度地区に住んでいる方、学んでいる方、働いている方
 - ・有度地区にて事業を実施している企業・行政・活動団体の方
 - ・有度地区あるいは静岡市が出身の方
 - ・近い将来、有度地区あるいは静岡市内に住みたい、学びたい、働きたいと思っている方
- (* 高校生で参加希望の方は、保護者からの承諾を頂いてください。)

● ワークショップ開催日

* 開催場所：有度生涯学習交流館

第 1 回 2024 年 7 月 6 日 (土曜) 午後 14:00 -17:00

主な内容「プロジェクト活動の進捗報告」

第 2 回 2024 年 8 月 10 日 (土曜) 午後 14:00 -17:00

主な内容「グループワーク」

第 3 回 2024 年 10 月 5 日 (土曜) 午後 14:00 -17:00

主な内容「グループワーク&公開発表会・ゲストによる講評」

第 4 回 2024 年 11 月 2 日 (土曜) 午後 14:00-15:30 (今後のプロジェクト活動に向けた相談会)

注：定員 30 人程度 (応募者多数の場合は、主催者側にて選考させていただきます。)

● 参加申請方法

* 受講料：無料 / 申込締切：6 月 22 (土) 午後 5 時

下記の「参加申請フォーム」、あるいは有度生涯学習交流館の窓口や電話を通じて、参加の旨を申請をしてください。応募者多数だった場合の選考結果も含めて、第 1 回目が始まる前に下記フォームに記載されたメールアドレス (あるいは 電話先) へと、主催者側から第 1 回目の開催のご連絡をいたします。

参加申請フォーム：<https://forms.office.com/r/mPeFFx17Kj>

* 参加申請フォームを通じた入力や申請が難しい方は、有度生涯学習交流館の窓口や電話を通じてお申込みください。



● ファシリテーター： 横浜国立大学・准教授 志村真紀 (静岡市清水区有度地区出身)

主催：有度生涯学習交流館 / 共催：有度地区連合自治会、有度地区まちづくり推進委員会 / 協力：一般社団法人草薙カルテッド / 問合せ先：有度生涯学習交流館 (電話：054-345-4886 / 住所：静岡市清水区草薙一里山 3-1)

【指定管理者：清水区生涯学習交流館運営協議会】



UDO-TDB

●有度人材育成事業：「UDO まちづくりベース」の目的・ねらい

- ・地域課題への気づきや関心を促す講座を行い、地域に関心をもっていただくこと。
- ・地域には皆さんの経験を生かせる場があること。
- ・関心を示された方々が実際に活動を行い、地域に関わる機会を主体的に設けること。
- ・今後活躍する人材の発掘や活動の後押しをし、まちづくりに関わる実践活動や組織づくりができる人、さらにはリーダーを育てていくこと。

日々の「ライフスタイル」が「まちづくり」になります。

UDO まちづくりベースを通じて、ぜひ関心のあるプロジェクトにご参画ください。

●プロジェクト

UDO アグリ

有度地区は自然と街が共存する恵まれた環境であるという一方で、高齢化により農地・緑地の担い手不足が予測されます。また、未来を考えたときには、大規模災害の発生や物価高騰などで、食糧不足に陥るといった可能性も少なくありません。この地域には、元気に学校や園に通う子どもたち、地域を愛する子どもたちも沢山住んでいます。農業や食育、さらには自給自足の文化をつうじて、住みやすい魅力的な地域を後世に残していくことが私たちの役割だと思います。そこでまず1年目には、この地域にかかわる人々が小さな1歩を踏み出す後押しができるように、素人チームが「初めての農業」に挑戦することで、「みんなやれば、誰でも楽しくできるんだ!」ということを証明していきたいと思っています。

UDO バタ —UDO の井戸端づくり—

現代はライフスタイルが多様化し、多くの人々が住むまちなかに暮らしていても、近所に知り合いがいない、といった状況があるように思います。かつて水道がない時代には、共同井戸があり、水を汲みに来た人が顔を合わせ、世間話をする、コミュニティスペースとして機能していたそうです。現在そうした場はなくなりましたが、例えばごみ置き場のような場所は、みんなが決まった時間に立ち寄ることから、「現代の井戸端」として、私たちの暮らしを少し豊かにするのでは、と考えています。私たちは、有度の井戸端＝UDO バタをあちこちに設けて、有度地区が多様な人が自然と交流できる「住みたい街」になることを目指しています。今年は、UDO バタ候補地をいくつか見つけ、実現性を検討する予定です。

UDO 防災研究会

私たちは、令和4年の台風災害であらわになった防災的課題から、何が必要でどうあるべきかを話し合いました。その結果、防災知識があつての「備え」や、地域に特化した情報発信により防災知識を高められないかと思ひ、プロジェクトチームを発足しました。10年後の目指す姿を「有度地区すべての住人が防災知識がある。」として、取りこぼしのない防災啓発活動をしていきたいと思っています。具体的には、「1. 防災新聞を発行し回覧板やSNSで発信する」、「2. 避難弱者への防災啓発活動」、「3. 地域のイベントや幼小中学校での防災啓発活動」を計画していきたいと思っています。特に、防災新聞では有度地域に特化した情報発信により、「やっておけばよかった」「知らなかった」を無くせるよう、毎月の発行を目指していきます。一緒に地域の安心安全をつくっていきませんか!



ファシリテーター：横浜国立大学・准教授 志村真紀（静岡市清水区有度地区出身）

所属：横浜国立大学 地域連携推進機構 地域実践教育研究センター

専門：まちづくり、地域・都市デザイン、建築意匠、デザイン学

委員：静岡市都市再生整備計画事業評価委員長、静岡市中心市街地活性化協議会 委員、等